

新交通体系と観光に関する調査特別委員会（第6回）

令和4年2月3日（木曜日）午前10時45分開会

○案件

1. 今後の調査事項について
 2. その他
-

○出席委員（9名）

委員長	横田 有 一	副委員長	川 上 弘 一
委員	池 田 誠 悦	委員	稲 垣 明 美
委員	畑 中 静 一	委員	長谷川 生 人
委員	澤 出 明 宏	委員	中 島 勝 也
委員	若 山 雅 行		

○欠席委員（0名）

○委員外議員（0名）

○出席説明員（0名）

午前10時45分 開会

○横田委員長 おはようございます。

ただいまより、新交通体系と観光に関する調査特別委員会を行います。

今日の協議事項として、今後の調査事項についてとあります。

皆様に資料としてあります今日の北海道新聞の道の縦貫自動車道のオオヌマトンネルの着工前倒しになったということもありまして、その中で、うちの中宮町長が函館だけでは大沼にも立ち寄ってもらって観光誘致策を練って、完成を待ちたいというような言葉も入っていますので。この前の最後現地調査で終わっていますけれども、今後どういうふうに進めていくかということで、皆さんのご意見を聞きたくて今日お集まりしました。

何かありますか。

今日、朝新聞に出たばかりなもので、本当は今日でも情報提供して貰いたかったのですがけれども、それは無理だということもありますので。その今後の動かし方と同時に、今のこの縦貫自動車道の前倒しということもありますので、次回は、町長か経済部長、今土木課長も兼務しているので、そのほうに新しい情報を提供していただくというような流れでよろしいですか。

中島委員。

○中島委員 今日の新聞読みましたけれども、現地調査とかできるのだろうか。その辺ちょっとお聞きしたいのですけれども。

○横田委員長 もう少しマイク近づけて。

○中島委員 今日の新聞のことなのですけれども、確かに私これ読ませていただきましたけれども。委員会として現地調査というかそういうものはできるのかどうなのか、ちょっとその辺お聞きしたいと思いますけれども。

○横田委員長 その点につきましては、事務局と委員長、副委員長、担当課長とお話ししておきたいと思います。よろしいですか。政策推進課です。ごめんなさい。

若山委員。

○若山委員 前回の交通体系の委員会では、実際に行って、トンネルに入って、両側から見てあれしたので、できるのではないかというふうに思い

ますけれども。非常に参考にはなりませんけれども、検討するあれにはちょっと。何と言うのですか、それを見たから検討どうのこうのというのはあまりないのかなというのが僕の個人的な感想です。

要は、この縦貫道が完成した場合に、どんな影響があるのかというのを、先ほど言った大沼のあれについても、立ち寄ってもらえるようなあれを練ってとかあったのですけれども。その影響について、例えば道の駅の存在について、足が遠くのか、たくさん人が来るのか、どのように町としてシミュレーションしているのか、その辺も含めてヒアリングさせてもらえればというふうに思うし。もしそれが何かあれば、この委員会として、どこかに陳情なり何かするところまで議論を深めていければなというようなことを考えたいなと思っています。個人的な意見ですがけれども。

○横田委員長 ただ今、若山委員から縦貫自動車道ができた場合に、町内の施設、特に道の駅とかがどういうふうな影響が出るかというやつのところを聞きたいということであります。

その点について、いかがですか、よろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○横田委員長 では、それも一緒に入れてやりたいと思います。

あと、よろしいですか。

畑中委員。

○畑中委員 やっぱり縦貫道を完成するに当たって、今大沼のトンネルが掘られているわけですがけれども。峠下、いわゆる仁山に至って、その後のいわゆる今函館の新道にどう繋がるか。どういう繋ぎ方にするかによって、やはりまちづくりがかなり影響を受けると思うので。その情報というのかな、やはり一番欲しいし、そうでないと、なかなか描けないのではないかなと、まちづくりを。ですから、このせつかく特別委員会があるのですから、その情報を早く引き出して、その引き出された情報の中でこのまちづくりを考えていく必要があるのではないかなと思うので。今日のところは、そこまで進めないで、大変あれなのですけれども。必ず次回には、そういった方向で進めて

いただきたいなと思っております。

以上でございます。

○横田委員長 今、畑中委員のほうからは、実際に峠下地域色々なものが出来てきて、色々なことがあるのですけれども、それが縦貫自動車道とどういうふうに繋がっていくのかというのは、これは国のやつですから、町側がどういうふうにそれをフォローして、こういうふうにやっていただきたいというものがあると思いますから、その辺を聞いて、また我々もこうしてもらいたいというものを出していくということによろしいですかということでもいいですか、畑中委員。そういう内容ですね。

ということですが、皆さんよろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○横田委員長 では、それを含めてということに進めたいと思います。

あと、ありますか。

副委員長。

○川上副委員長 まだ先の話になると思うのですが、今畑中委員が言ったとおり、トンネルの出入口の今の出来ている縦貫道ですか、それとの接続の仕方になると思うのですが、要するに町としては、どういう接続になっても、道の駅あるいは大沼方面に抜けていくようなそういう道路の計画というものを策定してもらわなければいけないので。後の話になりますけれど、要望活動を国に対して行っていかなければならないということで、要望も一つ中に入れていただきたいと思います。

以上です。

○横田委員長 副委員長から要望も入れてという話、私もそれ思っていました。ですから、我々来年の春までが任期でありますので、秋か何かにちょうどコロナが収まっているときに要望活動できればいいのではないかなというふうに考えていますので、その辺進めるということによろしいですね。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○横田委員長 あと、ありますか。いいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○横田委員長 本日の新交通体系と観光に関する調査特別委員会、これをもって終わります。

ご苦労様でした。

午前10時54分 散会

